

第9編 公益法人等

平塚市土地開発公社

公益財団法人平塚市まちづくり財団

公益財団法人平塚市生きがい事業団

社会福祉法人平塚市社会福祉協議会

第1章 平塚市土地開発公社

1 目的

平塚市土地開発公社は、「公有地の拡大の推進に関する法律」第10条の規定に基づき設立されたもので、公共用地、公用地等の取得、管理、処分等を行うことにより、地域の秩序ある整備と市民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

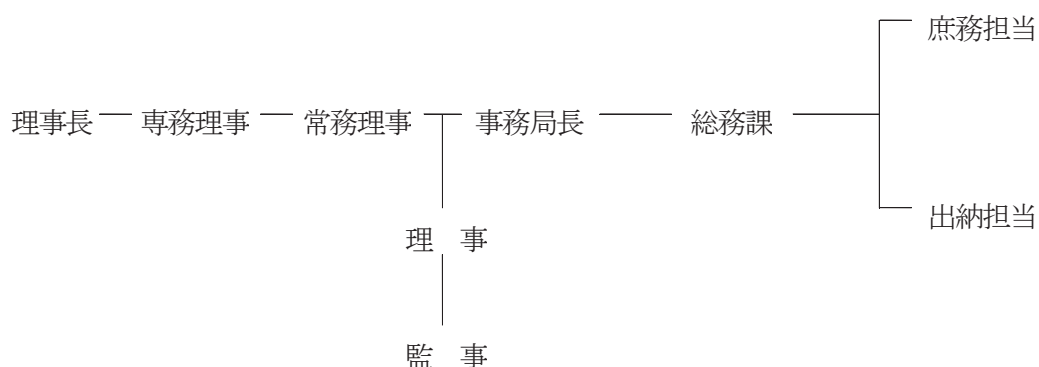
2 設立等年月日

昭和49年10月1日 設立

令和2年9月28日 土地開発公社の保有している土地の買戻しが全て完了したこと及び、土地の先行取得を予定する事業もないことから、土地開発公社の使命は終わったものと判断するに至り解散

3 公社の組織

令和2. 4. 1現在



4 基本財産

500万円（市からの出資金）

5 事業概要

(1) 公有地取得事業の状況

令和2年度は、公有地の先行取得を行わなかった。

(2) 公有地の売却状況

平塚市の公有地取得計画に基づく取得依頼により買収を完了した公有地のうち、令和2年度は、次のとおり平塚市へ売却した。

用地名	面積	売却額
萩原八幡線道路用地（代替地）・保育所用地	1,259.39 m ²	374,908,240円

第2章 公益財団法人平塚市まちづくり財団

1 目的

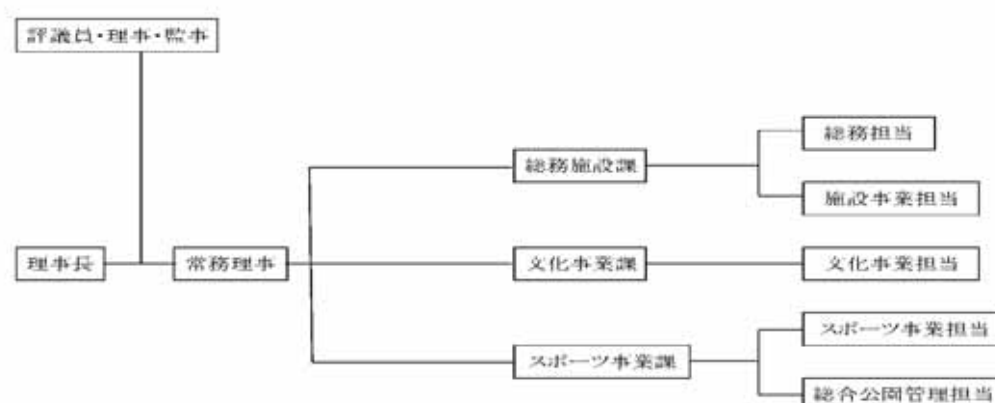
公益財団法人平塚市まちづくり財団は、平塚市の健全な発展と公共福祉の増進を図るため、市民の文化、スポーツの振興・促進及び公共施設の管理運営等を総合した事業を行い、平塚市民の健康増進と明るく潤いのある市民生活に寄与することを目的とする。

2 設立年月日

- ・平成22年4月1日 事務の効率化、財政基盤の強化と実施事業の魅力アップ等を図るため、財団法人平塚市文化財団、財団法人平塚市スポーツ振興財団、財団法人平塚市開発公社が統合（合併）し、財団法人平塚市文化スポーツまちづくり振興財団として発足
- ・平成24年4月1日 公益財団法人に移行
- ・平成25年6月27日 公益財団法人平塚市まちづくり財団に名称変更

3 財団の組織

(令和3年4月1日現在)



4 基本財産

533,797,981円

5 事業概要

(1) 公益目的事業

ア 芸術文化振興事業

(ア) 市民文化の創造・育成と市民文化の普及・振興

市民参加による音楽や舞台芸術の事業及び市民文化の普及を図る事業を実施した。

12事業 入場者数1,903人 参加者数124人

(イ) 芸術文化鑑賞機会の提供

優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供するための事業を実施した。

2事業 入場者数等417人

(ウ) 文化団体等に対する助成

市民が生涯にわたって文化活動を継続できるよう全国・関東大会等出場の場合に交付する支援金については、助成の申請がなかった。

音楽コンクール等 0件 0円

囲碁選手権大会等 0件 0円

(エ) 囲碁文化の普及（受託事業）

平塚市が推進している囲碁事業を受託し実施した。

春休み子ども囲碁入門教室等 14 事業 参加者数 217 人

イ スポーツ振興事業

(ア) スポーツ教室等の実施

市民が生涯にわたりスポーツに親しみ健康増進を図るため、スポーツ教室や体験教室を実施した。

スポーツ教室数 40 参加者数 4,403 人

体験教室数 7 参加者数 75 人

(イ) 囲碁ボールの普及

囲碁ボールの普及を図るため、公民館等への講師派遣の実施及び公民館等で囲碁ボール事業を行った。

派遣人数 延べ17人

事業件数 69件 参加者数 1,142人

(ウ) YouTube チャンネル開設・公開

自宅のできるスポーツ教室の動画を作成し、YouTube チャンネルで公開した。

動画数 35

(エ) ダンスと音楽でみんなを繋げよう公演

健常者と障がい者、LGBTなど隔たりがない社会を作るために、UDダンス教室参加者の発表とアーティストによるトークパフォーマンスイベント等を開催した。

(オ) スポーツ団体等に対する助成・援助

市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連帯意識を高めながら、スポーツ活動を継続できるよう支援した。

全国大会等出場者及び会場使用への支援 20件 189,000円

優秀選手の表彰（小・中・高校生を対象） 個人 15人

全国大会出場者（表彰を受けた者を除く）にスポーツの奨励として記念品を贈呈 0件

(カ) その他

○くすの木体操の指導員の養成、市民への講習会のため、講師を派遣した。

くすの木体操の指導員養成講座1回、くすの木体操講習会6回の計7回

○文化事業とスポーツ事業のジョイント事業

文化事業とスポーツ事業の効果を高めるため、幼稚園や保育園の幼児を対象としたジョイント事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

ウ まちづくり振興事業

(ア) 自転車振興

- a 駐輪場及び自転車等放置禁止区域の周知等及び交通ルールの遵守・自転車マナーの普及キャンペーン事業

○放置自転車等一時駐輪利用案内・誘導システムの実施

○「平塚駅周辺自転車等放置禁止区域と駐輪場マップ」の配布

○自転車交通安全CMの放映及びバナー広告の掲出

○交通安全啓発標語板による普及活動

○交通ルールの遵守及び自転車マナーの普及啓発（PRキャンペーン）の実施

- b 自転車乗車用ヘルメット購入助成事業

自転車乗車中のけがの軽減等自転車交通安全の促進と自転車マナーの向上を図るため、自転車乗車用ヘルメットの購入に係る費用の一部を助成した。

助成件数 1,072 件 1,072,000 円

(うち高齢者の件数 29 件)

(イ) 平塚市総合公園の管理運営（受託事業）

平塚市から委託を受け有料スポーツ施設を除く総合公園の管理運営を行った。また、自主事業として、園内南第一駐車場横花壇を、花でリトアニア共和国の国旗の色に装飾した。

平塚のはらっぱにおける「いちにち・ふれあい動物村」と「ふれあいミニ動物園」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(2) 収益事業

ア 駐輪場、駐車場管理運営事業

(ア) 駐輪場の管理運営（レンタサイクルを含む。）

- a 駐輪場の整備、改善

令和2年度八重咲町公園第1駐輪場改築工事

駅前大通り駐輪場防犯カメラ設備更新工事等

- b 駐輪場等の管理運営（19施設）

駐輪場	事業収入	257,971,150 円
-----	------	---------------

レンタサイクル	事業収入	606,400 円
---------	------	-----------

(イ) 駐車場の管理運営

a 紅谷町駐車場の管理運営	事業収入	61,365,120 円
---------------	------	--------------

b 湘南海岸公園臨時有料駐車場の管理運営	事業収入	0 円
----------------------	------	-----

(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

イ 売店事業

- ・総合公園内での売店とレストハウスの運営、スポーツチケットの販売

事業収入	5,606,551 円
------	-------------

・自動販売機による飲料水等の販売・電動遊具の設置	事業収入	7,649,828 円
・文化受託チケット等販売事業	事業収入	6,580 円
(3) その他		
・文化情報誌「湘南の風にのって」を年2回（4月、9月）発行		
・財団文化トピックスをミニコミ紙に掲載（月2回）		
・情報誌「スポーツタウンひらつか」を年2回発行		

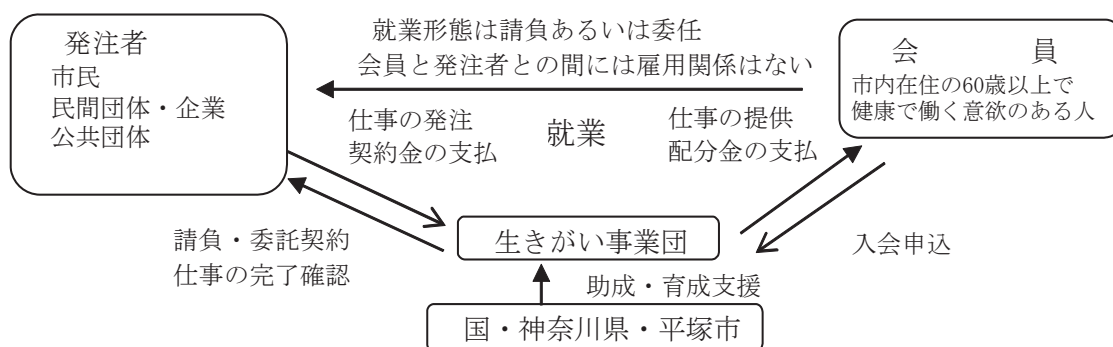
第3章 公益財団法人平塚市生きがい事業団

1 目的及び設立年月日

公益財団法人平塚市生きがい事業団は、高齢者の豊かな経験と知識を社会に役立て、同時に仕事をするにより高齢者自身の生きがいを見いだすことを目的として、市からの基本財産（出資金）200万円により昭和55年8月20日に設立された。

2 事業団のしくみ

会員は、希望する職種を登録し、発注者からの仕事は、事業団が受注する。受注した仕事は、会員が登録した希望職種に合わせて就業する。発注者からの契約金の支払いは事業団に納入される。納入された契約金は、事業団から会員に配分金として支払われる。



3 会 員

- (1) 会員の資格 登録要件は、市内在住の60歳以上で、健康で働く意欲のある人
- (2) 会員登録数

区 分	男 性	女 性	計	区 分	男 性	女 性	全 体
登録人数	1,273人	507人	1,780人	平均年齢	74.3歳	73.6歳	74.1歳

4 仕事の内容

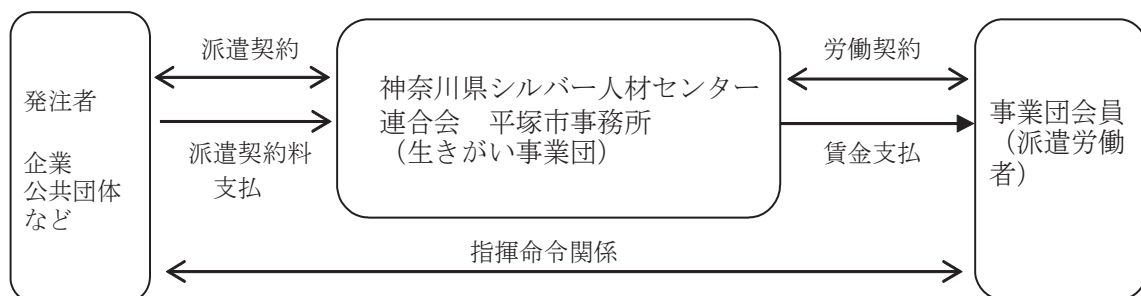
技 術 群	パソコン指導、書道指導、絵画指導、学習指導、経理事務など
技 能 群	大工、襖・障子の張替え、植木の手入れ、洋服のリフォームなど
事 務 群	毛筆あて名書き、毛筆賞状全文書き、一般事務、データ入力など
管 理 群	施設管理、守衛、自転車置場管理、駐車場管理など
折衝外交群	店番、集金、パンフレット配布など
一般作業群	屋外清掃、除草、草刈り、屋内清掃、各種製作加工、蜂の巣駆除など
サービス群	家事援助、粗大ゴミの搬出、家具の移動、通院介助、子育て支援など

5 仕事の実績

年 度	受託件数	実就業人数	延就業人数	配 分 金 額
元	5,343	1,006	116,532	498,517,554
2	4,649	908	101,669	425,456,409

6 一般労働者派遣事業

平成21年度より、多様な就業メニューの1つとして、通常の請負事業になじまない仕事や発注者から指揮命令を受ける仕事は、シルバー派遣事業として行っている。シルバー派遣事業で働く場合には、会員は労働契約により、派遣労働者として神奈川県シルバー人材センター連合会に雇用され、就業場所である会社などに派遣されて、その就業先の指揮命令を受けて業務に従事する。



7 一般労働者派遣事業の実績

年 度	受託件数	実就業人数	延就業人数	賃 金 総 額
元	134	268	22,741	100,613,947
2	128	268	23,548	103,988,050

8 有料職業紹介事業

平成26年10月から、有料職業紹介事業の届出により、実施できるようになった。有料職業紹介の対象となる求職者は60歳以上の定年退職者等で、通常の請負事業になじまない仕事内容を一般労働者派遣事業以外に、有料職業紹介事業で取り扱うことができるようになった。

9 有料職業紹介事業の実績

年 度	紹介件数	年間就業会員数	賃 金 総 額
元	1	1	409,000
2	1	9	669,000

※有料職業紹介事業

有料職業紹介事業とは、職業紹介に関し手数料又は報酬を受けて行う職業紹介事業をいいます。有料職業紹介事業は、職業安定法（以下「法」といいます。）第32条の11の規定により求職者に紹介してはならないものとされている職業（具体的には港湾運送業務に就く職業及び建設業務に就く職業がこれに当たります。）以外の職業について、法第30条第1項の厚生労働大臣の許可を受けて行うことができます。

(以上、厚生労働省パンフレットから <http://www.mhlw.go.jp/general/seido/anteikyoku/manual2/>)

第4章 社会福祉法人平塚市社会福祉協議会

1 目的と設立年月日

平塚市社会福祉協議会は、住民を主体にした地域福祉の推進役で、地域住民、関係団体とともに福祉活動を推進することを目的とし、その中核を担う民間組織である。昭和28年4月1日に設立され、昭和50年3月31日に法人の認可を受けている。

事業は、福祉のまちづくりを目標に地区社会福祉協議会、各種ボランティア、当事者団体等との連携、民生委員児童委員との連絡調整、ボランティアの育成指導、法外援護などを中心に進めている。また、県・市からの受託、共同募金、社会福祉基金などの事業を通して地域に密着した幅広い活動を展開している。

2 援護事業

(1) 要援護者等慰問活動事業

夏期、年末慰問金支給（社会福祉基金・共同募金）

生計困難世帯	夏期	401世帯	年末	384世帯
在宅重度身体・知的・精神障がい者			年末	1,279人

(2) 低所得世帯児童援護

対象	区分	修学旅行費	入学祝
	小学生		26
中学生		43	44
金額(円)		560,000	2,410,000

(3) 交通遺児援護

交通遺児に対する激励金として、18歳以下の遺児に対し1人15,000円を交付している。また、県社協より交通事故発生時見舞金として、100,000円、小・中学入学、中・高校卒業時に激励金として50,000円を交付している。

交通遺児激励金（市社協）	12件	180,000円
交通遺児見舞金（県社協）	1件	100,000円
交通遺児激励金（県社協）	6件	300,000円

(4) 生活福祉資金貸付金事業

区分	総合支援資金	福祉資金 (緊急小口資金を含む)	教育支援資金	計
件数	0	7	7	14
金額(円)	0	1,833,000	5,112,000	6,945,000

臨時特例つなぎ資金貸付 0件 0円

緊急小口・総合支援資金特例貸付

(新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯への貸付)

区 分	総合支援資金特例貸付	緊急小口特例貸付	計
件 数	1,025	2,110	3,135
金額(円)	562,537,000	379,940,000	942,477,000

※金額は申請額

- (5) 緊急援護事業
 援護件数 40 件
- (6) 相談援助事業
- ア 生活支援相談（生計支援） 延 97 件
 - イ 地区ふれあい福祉相談（地区社協で実施） 408 件
 - ウ 在宅福祉相談 1,272 件
 - エ ボランティア相談 402 件

3 在宅福祉サービス事業

平塚栗原ホーム事業

平塚栗原ホームは、平塚市内の在宅福祉サービスの拠点として平成3年4月12日に開設された。

(1) ホームヘルプサービス事業

子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に過重な負担がかかる前の段階において、訪問による支援を実施することにより、当該家庭において安定した子どもの養育が可能となること等を目的に家事の援助を行った。

ホームヘルパー派遣実績

養育支援訪問事業ヘルパー派遣	利用者数	利 用 回 数 (日)	利 用 時 間
	6 人	延 65 日	延 97.5 時間

4 日常生活自立支援事業

(1) 相談及び契約件数

- ア 相談援助活動 延 2,615 件
 - 新規依頼相談 延 162 件
 - 日常生活自立支援に関するもの 延 2,366 件
 - その他 延 87 件
- イ 契約件数 116 件

(2) 訪問活動

- ア 専門員・担当者の訪問活動 延 62 回
- イ 生活支援員の訪問及び活動回数 延 1,857 回

5 ひらつか地域介護システム会議の運営

市社協が事務局となり、各種サービスを提供する事業者や関係機関の連絡調整体制及び利用者に対する情報提供体制を確立し、介護サービス等の信頼性の確保と質の向上、充実及び介護保険制度の円滑な運営を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として実施した。

(1) ひらつか地域介護システム会議	延 10回
(2) 事業別連絡会	延 32回
(3) ひらつか地域介護システム会議主催による研修等	延 6回
(4) 医師会との交流会	0回

6 子育て支援事業

(1) 子育て支援センター	利用者 7,357人
(2) ファミリー・サポート・センター	
会員数	1,741人 (支援会員 291人 依頼会員 1,488人 兼ねている会員 30人)
問い合わせ件数	延1,958件 事前、顔合わせ件数 延109件
活動実績	延1,317件

7 その他(育成・啓発)事業

(1) ボランティア養成研修会(福祉学習指導者養成講座・福祉教育サポーター・知的障がい児)		延 96人
(2) 専門的なボランティア養成研修会(点訳・拡大・音訳・手話(一部中止)・要約筆記)		延 178人
(3) 学校、企業等ボランティア活動及び体験学習へ協力	25件	延 4,683人
(4) 善意による寄託金		
社会福祉基金	63件	2,525,391円
交通遺児へ	2件	244,000円
児童福祉へ	13件	133,676円
(5) 共同募金(年末たすけあい配分金)		
生計困難世帯年末慰問金	384世帯	2,946,000円
一般遺児激励金	74人	1,110,000円
修学旅行支度金	65人	560,000円
地域活動支援センター	14ヶ所	679,901円
障がい者グループホーム・ケアホーム	4ヶ所	123,790円
障がい児デイサービス	1ヶ所	16,210円
地区社協活動事業	19地区	1,301,653円
要援護者実態把握活動事業	1ヶ所	2,768,000円
在住外国人共生事業	1ヶ所	150,000円
福祉団体補助金	17団体	1,342,000円
その他		1,079,957円